



ひなた新聞53号



・取り組んできた政策がさらに前へ「ミライへはばたく予算」



詳細はこちら

- 新たな協働の仕組みである「つながる鎌倉エール事業」の枠を拡大
- デジタル技術を活用した業務プロセスの見直しを推進
- 将来的な市庁舎窓口のあり方について検討
- 新庁舎等整備に向けて基本設計等業務の受注者選定プロポーザル等を実施
- 「市庁舎現在地利活用基本計画」を踏まえた市役所現在地利活用の検討
- 政策形成過程に幅広い市民の意見を反映させる仕組み「市民参加型共創プラットフォーム」を運用
- 日本遺産のストーリーを通じ、鎌倉の魅力を発信するコンテンツを作成
- 鎌倉市公園施設長寿命化計画を一部前倒しし、遊具を順次更新
- アプリで健康づくりを応援する「古都をトコトコ鎌倉健康歩イント」事業を運用
- アウトリーチによるケアラーの早期発見や相談・伴走支援
- ペット同行避難ガイドラインに基づく周知・啓発用チラシを作成
- 鎌倉駅東口付近及び鎌倉高校前駅付近に街頭防犯カメラを整備
- 混雑可視化システムについて観測スポットや混雑予測機能を追加
- 海岸に下水道排水設備を設置する工事実施
- 市立全小学校給食室の冷暖房設備設置工事
- 高機能消防指令センター設備更新
- 腰越保育園の公私連携保育所開設と併せて、子育て支援センターを開所

かまくらまるごと子育て・子育て戦略
- ぎらぎらプロジェクト -



- **待機児童対策の充実・強化**
保育士等就職奨励金の開始・保育所等保育士等確保費用補助の開始
- **切れ目のない伴走、支援を要する方々への積極的なアプローチ**
妊産婦健康診査費用の補助拡充・産後ケア事業の自己負担額の軽減拡充
幼稚園における紙おむつ処分費用補助の開始
認可外保育施設等利用料補助の開始・腰越子育て支援センターの開所
- **障害、医療的ケア児など、複雑化するニーズへの対応**
障害児の障害福祉サービス利用者負担額軽減の開始
遺児卒業祝金の拡充・高校生を対象とした就学援助金の拡充
ひとり親家庭への夏季休暇期間の食料支援の開始
- **青少年の居場所づくりの更なる推進**
鎌倉青少年会館の改修・冒険遊び場の日曜開所の開始
- **個別最適な学びの実現**
学びの多様化学校(不登校特例校)の設置・校内フリースペースの整備

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾 活動レポート



1983年 6月 9日 生まれ (40歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT 企業へ就職後、2013年 29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年 2期目の当選。2021年 3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会委員、議会運営委員会委員長



●令和6年度「ミライへはばたく予算」可決、覚悟と着実な政策推進へ

令和6年度予算は、令和4年度の「ミライツクル予算」、令和5年度の「ミライへ育む予算」の流れをくみ、4つの柱を軸とした過去最大規模の予算となりました。コロナ禍の経験を生かし、変化を恐れずに大きな目標や新しい変化に向かっていく、まさに新たなステージへ前向きに進む「ミライへはばたく予算」については、長期にわたって進めていく覚悟と政策を着実に進めていただくことを大いに期待いたします。

こどもまんなか社会の実現

「かまくらまるごと子育て・子育て戦略
-ぎらぎらプロジェクト-」を始動
鎌倉で生まれ、育ってよかったと思える
環境の構築

市民が日々安心して暮らせる 環境の構築

地震や風水害等の災害への備えや
計画的な対策、日常生活における
対応も含めて、未来の鎌倉を思い描く

共生社会の更なる推進

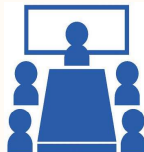
共生社会の実現に向けて、暮らしの中
にある「当たり前」、その「当たり前」から
生まれてくる「先入観」を取り払い
見つめ直すことが大切

鎌倉で楽しみ、満足できる 空間の整備

市民と来訪者それぞれの視点から、
地域の実情を踏まえた対策を講じる

・会派を代表して一般会計予算等審査特別委員会で審査

令和6年度予算審査の過程において、会派として今後の市政運営に関し、特に意見した点について、抜粋して記載します。



「便利な市役所、行かなくてもいい市役所」の実現へ

市庁舎窓口のあり方を検討する中で、デジタル技術を活用し、市民サービスの向上と職員の負担を軽減していく取り組みを進めていき、行財政改革を推進していくことを求めました。

市民の命と暮らしを守るため、市民が中心の場へ

新市庁舎建設に向けた基本設計を進めることで、新しい市役所のイメージが膨らむことと認識しています。設計中も様々な情報を市民と共有して進め、現地の利活用についても市民サービスの提供と賑わいや憩いの創出する場としていくよう求めました。

観光振興と市民生活への影響緩和を両立

過度の混雑やマナー違反によって、住民や環境に悪影響が及ばないようにするためにも、観光庁が展開されるオーバーツーリズムの未然防止や抑制に向けた包括的な支援事業を活用するなど、国や県と連携し積極的に取り組んでいくよう求めました。

家庭系ごみの戸別収集の導入に向けて

これまでも導入を強く要望してきました戸別収集は、多様なライフスタイルのもとで生活するすべての方々のごみ出し労力を軽減し、市民サービスの向上に寄与すると考えており、導入に向けて検討をしていくよう求めました。

利用者が選択できる高齢者活動支援サービスの充実

高齢者の社会参加や福祉の向上等を図るため入浴料の一部助成など取り組んでいます。交通機関利用時の助成に使えるなど、メニューを増やし利用者が助成の使い道を選べるような事業の充実を求めました。

地域行事の保存と継承

地域のお祭りや郷土芸能は長い歴史の中で生まれ、守り、伝えられてきた貴重な財産であり、確実に後世へ伝えていくためにも、郷土芸能保存協会加盟団体を増やし、さらには文化財としての指定を進めていくこと求めました。

この他に、鎌倉地域漁業支援施設整備の令和7年度の着工に向けた取組や鎌倉彫の振興事業の充実などを意見として残し、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた行政運営を切に願いました。

また、委員会で全会一致となりました避難対策の推進や防災体制の強化、オーバーツーリズム対策として駅前ガイド事業の利便性を高めガイドアプリの導入など観光客の移動の円滑化につなげること、及び国の動向を注視しつつ給食費無償化の実現に向けた前向きな検討を進めることを求めました。

・新庁舎等基本設計等の事業費を削除する修正案は反対

予算委員会及び本会議において新庁舎等基本設計等の事業費を削除する修正案が提案されましたが、我々「夢みらい鎌倉」は反対しました。



委員会で提案者に質疑を行ったところ修正理由は「市役所の位置を定める条例が否決されており、時期尚早」「新しい庁舎が何を目指すのかコンセプトが見えない状況」「本庁舎に補強工事をするだけで長寿命化が可能である」とのことでした。

私は、能登半島地震等の被災状況からも、災害時に業務継続が可能であり救援や復旧の拠点として機能するために本庁舎の整備は喫緊の課題だと認識しています。現状でも執務室や待合スペースは狭あいており、会議室も足りていない状況で耐震補強ブレースを増やせば、さらに執務環境は悪化します。そして何より、本庁舎を長寿命化し続けることは、市庁舎現地利活用の中で複合化を目指す生涯学習センターや中央図書館などの施設も老朽化が進み、本市の公共施設に対する課題解決にはつながりません。

また、事業者による基本設計提案段階から市民意見を聴取し、設計に生かして進めていくのが重要であり、提案段階から公表する点を評価しています。

土日がほぼ使用されていない現庁舎を新たに活用していき、行政サービス提供の場を残しつつ、市民が中心の鎌倉の拠点を目指すべきと考えます。

腰越クリーン&ガーテニング大作戦

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と

毎月第3土曜日 7時30分～8時30分(腰越駅集合) 意見交換会を行っております。



住所:鎌倉市腰越3-23-7 連絡先:0467-32-5889

ホームページ:<https://www.hinata-kamakura.com/>

メール:hinata.shingo@gmail.com フェイスブック:日向慎吾

X(旧ツイッター):@HinataShingo インスタグラム:@hinata.shingo



討議資料